

新 医 協

発行所 新日本医師協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-2 日高ビル 4 F
TEL 03-3988-8387 FAX 03-3983-6165
振替 00170-9-180753

http://shinikyo.com/
Eメール: honbu@shinikyo.com
月2回5・20日発行 年間購読料 5,000円

本協会は、国民の生命と健康を守り、国民本位の医学・保健・医療・福祉の進歩をめざす。

全世代型社会保障

雇用と社会保障の一体的改革

ねらい

昨年12月にまとめられた全世代型社会保障検討会議の中間報告は、「人生100年時代の到来を踏まえて、働き方を含めた改革を行っていく」とともに、「年金、医療、介護全般にわたる改革を進める」と強調し、雇用改革と社会保障改革とを一体的な枠組みで推進するものとなっている。

働き続ける高齢者を増やす

雇用改革では、65歳〜70歳までの就労継続の確保（定年延長、継続雇用、起業する者への業務委託など）を企業の努力義務とする。働き続けることを前提に年金制度も変えていくとしている。この背景にあるのは、人口減少社会が進行する中で必要な労働力を確保するため、高齢者を不安定で安上がりな労働力として活用しようとする大企業中心の成長戦略である。元気で意欲がある高齢者が働くことは当然だが、かなりの高齢者が「年金だけでは暮らしていけない」と働かざるを得ない状況に追い込まれている。生涯現役で働き続けることが半ば強制される社会になりにかねない。

労働法制を形骸化

さらに、高齢者の就業促進をテ

コにして、「雇用によらない働き方」や「兼業・副業の拡大」を進めようとしている。フリーランスなど労働法制が適用されない不安定雇用・長時間労働を広げていくのと合わせて、労働法制を形骸化させることが狙われている。

予防への自助努力を求める

社会保障改革では、健康で働き続けて社会保障の「担い手」となる高齢者を増やすために、「健康寿命の延伸」への自助努力を求めている。自治体を巻き込んだ予防・健康づくりに取り組み、公的保険外の民間サービスの導入や高齢者の介護助手の育成などの成果に応じて財政インセンティブを与えて、予防と給付抑制を競わせる方向を強めている。

75歳以上の窓口負担に2割を導入

また、「負担能力に応じたものへと改革していく」として、現在は原則1割の75歳以上の医療費窓口負担について「一定所得以上は2割」に引き上げ、2022年度までに実施することを打ち出した。しかし75歳以上の高齢者は、

外来で86%が何らかの慢性疾患を治療し、64%が2種類以上の慢性疾患を治療しており、収入に対す

る医療費の自己負担が高い。しかも9割の人が所得200万円未満と困窮している。2割負担を押し付けることは、受診抑制・中断を広げ、重症化を招くばかりか、将来への不安を増長させることになる。

全世代に負担増を押し付ける

医療・介護の「給付と負担の見直し」は、「骨太の方針2020」での取りまとめに向けて、「経済財政諮問会議の「改革工程表」に盛り込まれた項目について、厚労省の審議会での議論が始まっている。世代間の対立をあまりながら、全世代にさらなる負担増を押し付けようとしている。

税・保険料の応能負担の徹底を

国民の7割が「医療・年金等の社会保障の整備」（内閣府・国民生活に関する世論調査）を求めている。健康や生活に不安を抱えている人が増加していることが明らかである。全ての世代の生存権・健康権を保障する社会保障は、年齢や世代によって、支える側と支えられる側に線引きするのは適切ではない。社会保障を支える税と社会保障料について、法人も個人も、所得に応じて負担する「応能負担の仕組みを徹底させるべきである」。

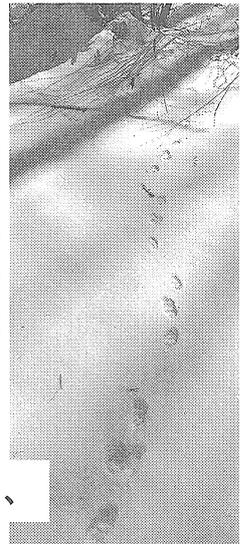
ひとこと

健康寿命という言葉は身体の弊害なく自立した生活を送れるというシンプルなことだが平均寿命（2018年）男性81歳女性87歳に対し、健康寿命男性72歳女性約75歳という現状がある。この改善において医療、介護内容の充実以上に当事者の意識の持ち方、行動、実行が不可欠となる。

2018年から縁あって2011年から住民が健康であるためにという意識で始まった通所型サービスマ型指定団体の高齢者体操教室の見守り、講師不在時の講師役を行っている。地域公民館や地域包括の会場を利用した活動である。1教室休憩を含めた90分で基本動作、軽い筋トレ、太極拳などを取り入れた簡単な椅子や立位での体操で20人ほどが参加している。参加者は平均80代前半、60代から90代の方で、女性参加者が多く男性が1割くらい。90代参加者のイキイキとした表情と動きには脱帽である。近隣住民がほとんどで開始前と休憩時間はおしゃべりが絶えない。来たら知っている顔に会えると皆周知している。

講師を行うとき体幹、呼吸、尿漏れ予防などを目的とした体操を行い免疫や風邪予防など役立つ知識や向上効果を持つツボの話などをする。キーワードをクイズ形式にする」と正解率も高い。こちらが学べる意識の高い場である。

（公益財団法人日本医療総合研究所
所研究研修委員 寺尾正之）



銀世界を歩き、

心も体も リフレッシュ

撮影：歯科医師 後藤康仁

新医協山の会は2020年2月2日から一泊で奥日光に行きました。参加者11名。職種、歯科医師、保健師、看護師、薬剤師等さまざま。数名が若手で、いっしょにいるだけでも元気が出ます。

両日とも、男体山がくつきりと見え、ポカポカ陽気でした。私は10年ほど前から毎年奥日光の雪上ハイキングを楽しんでいます。お天気に恵まれたのは初めてでした。また、こんなに雪が少なかったのも初めてです。

赤沼でバスを降り、登山靴に滑り止めのストッキングやアイゼンを装着し、戦場ヶ原に向かいました。真っ白い雪の上にはオコジョのものらしい足跡がいくつもありました。カラマツの新緑や紅葉を想像しながら

歩を進めました。戦場ヶ原は昨年10月の台風19号でたくさん木道が流され、倒木も多く見られました。修復が進まず、通行止めの箇所もありました。

湯元温泉では例年「全日本氷彫刻奥日光大会」が行われます。ミニかまくらの中に有名ホテルのコックさんたちの氷彫刻がおさまるのですが、今年は雪不足でかまくらはありませんでした。みなさん、氷の彫刻をカメラにおさめていました。

旅館ではかけ流しの温泉に浸かり、湯葉のお刺身、豆乳鍋などたくさんのお料理をお腹いっぱいいただきました。食後の交流会では「貴婦人」という日本酒がとくに人気で、呑むほどにそれぞれの武勇伝に力が入っていました。

翌日は、光徳入口から小田代ヶ原に向かいました。「貴婦人」はダケカンバの大木ですが、枝が重なって一本に見え、凜としたたずまいから名づけられました。小田代ヶ原展望台は草紅葉の頃になると「貴婦人」を撮るカメラマンでいっぱいになります。

新型肺炎や微用工をめぐる問題で外国からの観光客はまばらでした。追い打ちをかけて雪の少ない冬。竜頭の滝の茶店では私たちのグループがその日唯一の団体だったらしく、ちよつと被災地支援に貢献したかもしれませぬ。

澄んだ空気を吸い、気持ちよい汗をかき、老若男女の交流もあるハイキングです。来年は、みなさまもぜひご参加ください。

(薬剤師 橋本紀代子)

新医協東京支部講演会

申込方法・メールやFAX後、振替用紙(通信欄に講演名・参加者名を必ず明記の上)、左記にお振込み下さい。

0011041193012新日本医師協会東京支部

育てにくい子にはわけがある
〜感覚統合という視点を参考に〜

マヒや知的障害、視力や聴力の障害など、明らかな異常がないにもかかわらず、子ども達の体の機能や生活能力について、落ち着きがない・姿勢が崩れやすい・身のまわりの整理が下手・手先が不器用・動きがぎこちない・友達との関わりがうまく作れない・キレやすい...といった、子ども達の育ちや発達の特徴についての問題が取り沙汰されて久しくなります。

それらの背景に、幼少期からの遊びを含めた環境の問題や、地域での教育能力の低下、家庭教育能力の貧弱化など、様々な原因や要因が指摘されています。

今回の講義では、そういった子ども達の体や行動の不調について、「感覚」の使い方」の崩れや未発達さといった視点から光を当ててみましょう。「発達がちよつと気になる子」に対して、私たちに何ができるのか、しなければならぬことは何なのか、などについて考えてみたいと思います。★先着 150名で切

日時：5月23日(土) 10:00〜16:30
会場：全労連会館 2階ホール
講師：木村 順 療育塾ドリームタイム 作業療法士

参加費：新医協会員4,000円
一般6,000円

またまたマスクの季節がやってきた。今年のインフルエ
ンザの患者は1/3という感
じである。それでも市民検
診、一般健診と合わさると待
合室は立見席状態。先日は午
前中だけで70人以上の患者を
診た。1時過ぎまでかかっ
た。こんなことは初めてのこ
とだ。「3時間待ち、3分診
療」という例の話が頭をかす
めた。「大きく息を吸って、
そのまま停める」とレントゲ
ンのスイッチを入れる。疲れ
てくると、だんだん不愛想に
なっていくのが自分でもわか
る。

診療所のみんなは愚痴も言
わず頑張っている。「今日は
先生、とても大変で、ご苦労
様」とニコニコしている。僕
も明るい気分になり「僕の外
来もまだまだ捨てたもんじゃ
ない」と一気に疲れがすつ飛
ぶ。みんなと、ハイタッチ。

医療は一次医療、二次医
療、三次医療とピラミッド型
に形成されているという考え
方がある。

一次は開業医を中心とした
地域医療である。二次は一般
病院、三次は大学病院などが

連載 外来日記

—第34回—

最大の処方希望

担っている専門分野である。
一次医療は水準が低いもの
だと思いこんでいる医者も患
者も多い。「ゲートキーパ
ー」などという許しがたい言
葉まである。そういうえば昔、
先輩医師から「絹のハンカチ
めさせ、君のは雑巾だ」と言
われたことがある。医療はピ
ラミッドで考えるより成長し
つづける。木で考える方が
より納得がいく。

枝振りや葉の美しさに見惚
れるだけではなく、根元の頑
丈さに目を向け、見えない根
に思いをはせてみる。見えな
い世界で横に、そして深くド
ンドン拡がっていく。一次医
療・地域医療の真骨頂はここ
にある。二次医療、三次医療
との連携を強めながら、一
方、在宅医療の拡充、介護活
動を強くしていくことが増々
重要になっていく。患者を個
人のレベルで考えるならば、
同じ時代の仲間であり同志な
のだ。僕の書かなければなら
ない最大の処方希望。

(元全日本民医連会長

高柳 新)

杉の木保育園40周年記念アルバム

1979年、鬼高に杉の木保育園が誕生しました。「丈夫な体」「豊かな心」「考える力」を持った子に育てたいという保育目標で、日々の保育を積み重ねています。子ども時代を子どもらしく！仲間と育ち合う、杉の木の保育40年の記録です。(「はじめに」により抜粋)

【目次】はじめに／丈夫な体／豊かな心／考える力／みんなの仲間／異年齢／共育ち／職員集団～子どもと向き合う～／食べる／杉の木の行事一相撲／杉の木の行事一節分／杉の木の行事一合宿／杉の木の行事一卒園式／杉の木40周年記念事業／集合写真／あとがき



杉の木保育園40周年記念アルバム

ちいさな あしあと

ちいさな あしあと／発行：2019年10月／編集：40周年記念事業委員会アルバム編集チーム／発行元：社会福祉法人杉の木会 杉の木保育園／開園年月日：1979年4月1日／〒272-0015千葉県市川市鬼高3-18-17／Tel：047-377-5933／非売品です、ご関心ある方は新医協までご連絡ください。

ご案内 第18回 新医協

保健師の会

2月の保健師部会は11名が参加しました。練馬区の下地保健師さんが、住民と保健師であることの重なりについて、自身の体験から詳しくお話ししました。保健師の感性や、初回相談の大切さなど心に残る報告でした。

5月例会では昨年11月に報告していただいた古野民子さんより、江東区で働いてきた保健師の仕事など、感じたことについてお話していただきます。皆様の参加をお待ち申し上げます。

日時

5月15日 (金) 18:30～

場所

新医協事務所

テーマ

住民に叱られたり、
教えられたこと

話題提供者

古野民子

(城東南部保健相談所 保健師)

参加費無料

カネミ油症患者の 次世代、次々世代 の健康調査

IV. 考察

1. これまでの調査研究

胎児期被曝のカネミ油症(いわゆる「黒い赤ちゃん」とは別に、被曝した女性が一定の年を経て出産した子供にカネミ油症(ダイオキシンの)の影響が出ることはずでに報告され、初期にはカネミ油症と認定されていた。

カネミ油症被害者支援センターの水野玲子らは2002年に未認定10人を含む59人の被害女性のアンケート調査を実施し、2003年の第23回ダイオキシン国際会議ポスターにおいて報告した。その中で在胎時汚染を直接受けた胎児を除いて、被曝を受けた女性が被曝後に出産した子供に限って引用すると、①女、乳歯の異常、②男、2人流産・1人死産の後に出生、肝臓・胆のう障害・脂血症及び膀胱がん、③②の妹、未熟児で出生、腎臓病・肥満・髪の毛が薄い・中耳炎・下痢・生理痛、④③の妹、赤ん坊時より子宮出血、12歳の調査時も毎月高熱、月2回の生理、⑤⑥男女不明、低身長・成長抑制、⑤⑥の母親は姉妹(水野玲子)二世、三世にも続くカネミ油症の被害者―PCBやダイオキシン、次世代への影響は―、週刊金曜日、p.49-51、

2004.12.24。引用者註…原著では①の母親は在胎時被曝の二世として扱い、その子供①を三世としている。

その後、水野玲子らは症例を追加し、結婚前曝露の認定患者90人の詳細な調査結果を次のように報告した(カネミ油症被害者支援センター「次世代影響―PCB・被害は次世代まで、カネミ油症 過去・現在・未来、緑風出版、p.145-152,2006)。

(1) 生殖機能にかかわる疾患
無月経、無排卵、性染色体異常、生理激痛、ペニス短く太い、生理不順、産道發育不全、幼児からの子宮出血、思春期遅発(初経が遅く始まる)、包茎、子宮内膜炎

(2) 成長、骨、歯、耳などの疾患
低身長、低体重、未熟児、乳歯が自然に抜けない、永久歯が2本生えない、爪が変形、二枚爪、骨折しやすい、背骨曲がる、股関節脱臼、難聴、メニエール病、頸椎椎間板ヘルニア、骨髄腫、中耳炎、出生前に歯がある

(3) その他、神経系や免疫系、ガンなど
自律神経失調症、神経症、集中力ない、多動症、学習障害、心臓中膜欠損、川崎病、心臓疾患、胆嚢が悪い、弱視、より目、目の異常、パニック症、角膜炎、膀胱がん、肥満、抜け毛

私たちの確認した先天性奇形(心臓中隔欠損、口蓋・口唇裂、鎖肛)、皮膚症状に加えた出産時異常、男・女の生殖器障害、女子の肥満、永久歯先天性欠如、鼻血・血小板無力症(常染色体潜性遺伝)などは鼻血・血小板無力症を除いてほとんどこれらに報告されたものであった。
2. エピジェネティクスを阻害するダイオキシン

その後、これらの原因に「エピジェネティクスを阻害するダイオキシン」という立場での研究が進められている。「エピジェネティクス」という言葉は、個体発生に關する説の一つである「エピジェネシス(後成説)」と「ジェネティクス(遺伝学)」を起源としている。「エピ」はギリシャ語で「後で」や「上に」という意味の接頭語で、「エピジェネティクス」は「遺伝子の上にさらに修飾が入ったもの」である(国立環境研究所「未来に続く健康を守るために 環境化学物質の継世代影響とエピジェネティクス、環境儀No.59、p.6,2015)。

環境脳神経科学情報センター副代表の木村(黒田)純子氏は「ひとつの卵が受精後それぞれの組織特有の細胞に分化していく過程で、それぞれの細胞は受精卵と同じ遺伝子DNAを持っていながらも、特有の遺伝子DNAを使って特有の蛋白質を産生して、特有の機能と形態を示すようになる。エピジェネティクスとはこのような細胞分化の要である、どの領域の遺伝子DNAが使われるようになっていくのかを、制御するすべての調節機構をいう」と説明している(木村(黒田)純子「地球を脅かす化学物質 発達障害やアレルギー急増の原因、海鳴社、p.85、2018)。

すなわち、この細胞も基本的に同じ遺伝情報を持っているのに、別々の細胞になれるのは、使う遺伝子と使わない遺伝子に目印をつけているからである。これらの目印は、一旦つくると容易には外れない(エピジェネティック遺伝)という特徴がある。

これが次世代・次々世代へと変化が遺伝する根拠と考えられる。

すなわち、私たち人間の23対46本の染色体のDNAは繋げるととても長く、その時使われるDNA以外は規則的に折りたたまれ休止している。細胞内のDNAをほぐしていくと、ヒストンとよばれるタンパク質に巻き付いてできているDNA(クロマチン)となる。エピジェネティックな目印には、DNAにつく目印(DNAメチル化)とヒストンにつく目印(ヒストン修飾)の二つがある。これらが主要な遺伝子発現の制御機構である。

DNAを構成する4塩基(A, T, G, C)の配列異常(突然変異)とは異なる方法で、環境化学物質(環境ホルモンや農薬、重金属、PCBやダイオキシンなど)がこのエピジェネティクスを阻害(修飾)し、いろいろな疾患につながると考えられている。

国立環境研究所の野原恵子もこれらのメカニズムを詳述している(野原恵子「将来世代に与える化学物質の健康影響、人間会議、冬号、p.42-47,2019)。

油症研究班もこのような立場での研究をしている(和氣徳雄(2015)「5C-11251ダイオキシン類曝露による継世代健康影響と遺伝的環境要因との関連に關する研究」(平成24-26年度)www.env.go.jp/policy/kenkyu/sushin/kadai/syuryo_report/」)

V. まとめ

私たちの確認した次世代の先天性奇形、出産時の異常、次世代・次々世代の歯牙の先天性欠如及び血小板無力症の多発などはカネミ油症の次世代、及び次々世代に及ぼす影響である可能性を示している。

(菊陽病院 医師 藤野 紘)